様式１　　平成２５年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

<table>
<tr><td>市町村名</td><td>飛騨市</td><td>学校名</td><td colspan="4">飛騨市立河合小学校</td></tr>
<tr><td>校長名</td><td>向川原 眞郷</td><td>対象学年</td><td>全学年</td><td>人数</td><td colspan="2">６０名</td></tr>
<tr><td>活動名</td><td colspan="2">ふるさと活動</td><td>時間数</td><td>４０時間</td><td>継続年数</td><td>３年</td></tr>
<tr><td>題材</td><td colspan="6">１　自然環境（山野・河川・動物・植物・その他）　［　　　　　　　　］
２　歴史（出来事・史跡・先人・その他）　［　　　　　　　　］
③　文化（芸能・芸術・民話・風習・その他）　［歌舞伎・盆踊り・匠太鼓］
④　地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他）　［　山中和紙　　］
⑤　絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動　［　施設訪問　　］
６　その他（　　　　　　　　　　　　）　［　　　　　　　　］</td></tr>
<tr><td>複数年継続するための工夫改善</td><td colspan="6">○歌舞伎保存会、伝統芸能保存会、匠太鼓同好会等の活動を組織的に支援している河合町振興協議会との連携により、総合的な学習の時間などに指導を受け、運動会や学習発表会の場で、保護者や地域の方を招き、発表・披露している。
○また、歌舞伎は毎年６年生、山中和紙は５年生、匠太鼓は４年生が取り組むようにし、継続してどの児童にも体験させるようにしている。</td></tr>
</table>

１　ねらい

◎「自分に自信を持ち、ふるさとを誇りに思う子」の育成を図るため、地域資源（物・事・人）を大いに活用し、郷土愛を育み自分の良さを見いださせていきたい。そのために、地域の方から学ぶだけでなく、地域の行事へも積極的に参加し役割を果たしていく。

２　活動の概要

・総合の時間に学年別にテーマを決めて、地域の方を講師に招き指導を受ける。６年生は歌舞伎保存会の方に、地歌舞伎の歴史や保存会としての活動について話を聴き、学習発表会で発表する演目について指導を受ける。４年生は匠太鼓について、同好会の方から指導を受けた。その他全校児童を対象に、盆踊りの指導を伝統芸能保存会の方から指導を受けた。

３　地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

・歌舞伎保存会や伝統芸能保存会の方に、歌舞伎や盆踊りを学び、学習発表会で保護者や地域の方に披露することができた。学習発表会で発表した後、ディサービスセンターや保育園などを訪問し、発表した後、施設の利用者と交流してきた。
・運動会や学習発表会では、参観者と一緒に盆踊りを踊り、踊りが踊れない地域の方へ、踊りの手本を示しながら一緒に踊ることができた。また、地域の文化祭や盆踊りへ参加した。
・地域で活動が休止していた匠太鼓の演奏について指導を受け、子供たちの演奏で復活させることができた。

４　活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

・地域の方の思いを聴くことで、地域の方に支えられているという感謝の気持ちをもったり、郷土のために少しでも貢献できたという有用感をもつ児童が増えた。河合町のことが好きと考える児童も増えた。